

福島県地球温暖化防止活動推進員 活動事例紹介

～環境循環農業への取り組み～

会場：福島県環境創造センター
交流棟 コミュタン福島
日付：令和7年4月25日（金）



福島県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

福島県地球温暖化防止活動推進員
加藤 勝也



福島県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

1, 自己紹介

- 名前：加藤 勝也(かとう かつや)
- 主な活動地域：南会津郡内外
- 推進員になったきっかけ
焼却一辺倒の環境行政の考え方に危機感を抱き、「地球温暖化防止」に一役を担い、地域に貢献したいとの思いから
- 所持している資格
公害防止管理者
(大気1種、水質1種、ダイオキシン類)

令和7年度福島県地球温暖化防止活動推進員事業説明会



福島県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

2, 活動の紹介

●内容

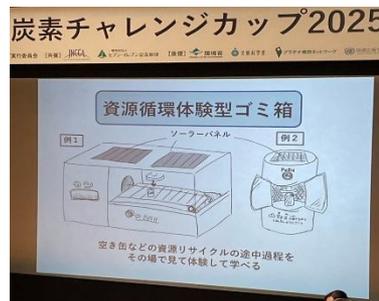
(1) 脱炭素チャレンジカップに応募しました。

タイトル: 脱炭素で地域循環の共生圏をつくる

内容: ①野生動物から農作物を守る「里山林の整備」です。

②里山林から出た丸太や、枝木を畑地に伏せ込み
有機肥料として循環活用します。

③有機物を伏せ込むことで、炭素を土中に固定します。



令和7年度福島県地球温暖化防止活動推進員事業説明会



福島県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

2, 活動の紹介

●内容

(2) 事務所開設

南会津町の田島地区に会員の方々との協議や交流の拠点及び有機農産物を販売する場所として開設しました。



令和7年度福島県地球温暖化防止活動推進員事業説明会



福島県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

2, 活動の紹介

●内容

(3) 里山で有機栽培

里山林整備後に、畑地利用可能な場所を選定し、野菜などを有機で栽培する実証圃場をつくる。(枝や雑草等を有機資材として伏せ込む)



令和7年度福島県地球温暖化防止活動推進員事業説明会



福島県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

3, 活動の成果と反省点

反省点

地域内の理解が得られず、活動の拡がりがないこと

●参加者の反応と質問

参加者との交流の機会も増えてきているものの、具体的な行動には至っていない。

●成果

町外で活動する方々と交流にめを向けたところ、将来的に具体的な行動に繋がれる可能性がみえてきたこと。

●この活動で得られたこと

自然環境を維持していくことで、地球温暖化防止の実践につながる期待を持てたこと。

令和7年度福島県地球温暖化防止活動推進員事業説明会



福島県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

4, 目指してることと できないでいること

●理想はどんなこと？

- 可燃ごみの分類を厳格に行ない、里山の有機資源等をも取り入れながら、地元の農業用有機堆肥として製造する事業を立ち上げること。
- 企業との連携を図り「Jクレジット」に結びつけること。

●なぜ、できないでいるの？

- 自治体の理解が進まないこと
- 地元の企業の脱炭素に対する意識が、低いこと。

令和7年度福島県地球温暖化防止活動推進員事業説明会



福島県地球温暖化防止活動推進センター
(NPO法人うつくしまNPOネットワーク)

5, まとめ

●これからやってみたいことは？

家庭菜園から始める「地球温暖化」ストップ作戦

- ・少しずつでも慣行農法から自然循環型農法への取り組みをする方々を増やしていくこと。
- ・脱炭素の効果を上げるために企業との連携を強化してより一層地球温暖化防止に努めていきたい。

令和7年度福島県地球温暖化防止活動推進員事業説明会